

各区だより

守山区



指導者養成研修会の現況



井県立恐竜博物館と敦賀港の1940年ナチスドイツの手から逃れたユダヤ難民がリトニア領事代行の杉浦千畝が発行した命のビザを持って日本に上陸した経緯や史実を纏めて展示した敦賀ムゼウム資料館を見学場所に選定しました。

新型コロナウイルス蔓延により、区老連および単位クラブの予定行事の中止が続き、市老連機関紙の各区だより投稿記事に困惑している状況です。

今回は令和元年度実施の区老連指導者養成研修会の模様を紹介いたします。以前この研修会はバス車中で資料による活動報告を中心に行ってきた

ましたが、平成29年度以降宿で研修会場を設け、外部研修受講の区老連役員による事例発表と質疑応答の研修会とし質の向上を図ってきました。

また道中見学先の案内とその土地に関わる雑学資料のしおりを作成し、併せて研修の一端としました。

今回は、国内最大級の恐竜骨格を展示する福



雑学ですが、11月となれば日本海各地で蟹の話題が出てきます。冬の味覚スワイ蟹はどんな蟹、日本海の水深200から300mに生息する雄の蟹で、水揚げされる港で同じ蟹でも名前が異なります。兵庫・鳥取県では松葉蟹、福井県では越前蟹、石川県では加能蟹と呼ばれ、赤や黄色の腕草「タグ」付き蟹は味も価格も最高です。愛知にも美味しいわたり蟹がありますので、併せてご賞味あれ。

今後も雑学話題をしおりに掲載し研修の足しにしたいです。

(梅本 羌司)

緑区
のみどり

桶狭間長寿会

まずは桶狭間の紹介をします。名古屋の南に位置し、1560年に織田信長と今川義元の両軍で合戦となった地です。今では古戦場跡が公園に整備され、国内各地からと海外から大勢の人が訪れています。

さて桶狭間学区の老人クラブは、



平成30年4月から始めたサロンは、月2回の開催で、1回の参加者数が50名近くあります。内容はラジオ体操から始まり皆で歌い、20分ほどの休憩をした後小物づくりなど約2時間おしゃべりをしながら楽しく過ごしています。一昨年は区老連が

平成5年4月1日に桶狭間長寿会として結成しました。いっつもでも元気で、をスローガンに現在3クラブで会員数106名です。会員の高齢化に伴い、会員数が減少傾向ではありますが、各クラブの役員の方々の努力によって最小限にとどまっているのが現状です。

桶狭間長寿会の活動状況ですが、

- (1) 地域貢献のために史跡、公園、神社などの清掃奉仕活動
- (2) 年4回の誕生日会
- (3) 保健センター指導による健康講座
- (4) 日帰りバス旅行など

多くの活動で、会員の健康状態の確認を行っています。

また、趣味を兼ねたクラブ活動として、グラウンド・ゴルフ部とカラオケ部があり、グラウンド・ゴルフは週2回、元気に仲間同士楽しんでいきます。



主催する作品展に初めて出品し入賞いたしました。新型コロナウイルスの発生に伴い、いったん中断することになりましたが、緊急事態宣言も解除になったのを機に10月から再開することにしました。

これからも元気のある楽しいクラブを目指していきます。

(山本 勝)